

マスターズ出場連続 13 回
狭心症を克服した?
綺麗な色 (金) に拘る理由
冬季オリンピック競技まで
夢を見ている爺々

■ 出国は若者男女 2 名と ■

今年は奇数年でワールドカップはないが、IOFは今回もJWSOC (ジュニア世界選手権) と同時期・同会場での開催である。

日本がWSOC (世界スキー〇選手権) で上位を目指すならやはりジュニア選手を強化しなければならない。

日本オリエンテーリング協会のスキー〇ジュニアの助成金はゼロ回答。

早くから賛助金を募ったがこれにも一人として振込が無い。

私は持論を貫くため、仕方なく全額自己負担でも参加する希望者を釣り上げた。

一人はこのレースに興味を示していた愚孫 (渡辺 幸・山形大)、もう一人は昨年のルーマニア大会にも遠征経験がある島貫なつみ (旭川大)。

そんな訳で老若男女 3 名で出国となった次第である。

■ 綺麗になったモスクワ空港 ■

遠征費のコストダウンするため往復の航空会社をロシアのアエロフロートを選んだ。前年 11 月、格安価格で予約し、気になるスキーと手荷物運搬の交渉を直接日本支店と交渉中、思わぬ朗報を受ける、3 月末までスキー用具は 23kg 以内無料キャンペーンなのだ。

シェレメチェボ空港が 2007 年の WOC モスクワ大会遠征時を思い出し心配であったが乗継だけなので運を天に任せてアエロフロート利用を決心した。

ところが、空港ターミナルが一変し、とてもきれいになり出発ラウンジの待ち時間も気にならなかつたばかりかターミナル内免税店ではユーロで買い物ができることに気が付き、復路はここで土産を買うことに決めてしまった。

■ 競技性向上のテレイン ■

マドナのテレインは 2 カ所。

マスターズはマドナで 2006 年にも開催されその時は大里真理子と参加したが、やはりテレインは 2 カ所でしたがその年は極端な雪不足で、森の中のコ

ースはシダの葉っぱや倒木が邪魔でトラックはところどころ草の上を滑らなければならなかった。今回は事前情報で分かっていたが積雪もたっぷりで 2 カ所のテレインはスキー場の一般利用者をシャットアウトしレストランやスキーハウスも完備し、待機中も苦にならなかった。

■ 予想外の入賞メダル ■



私は M7 5 クラスにエントリーした。例年 10 名以上いたのが今年は 5 名。武石の外はフィンランドの 2 名とリトアニア 1 名そして 10 数年来のライバルでロシアのアンドレー。エントリーメンバーを見て今年もメダルは無理と思っていた。

マスターズはロング 2 レースの総合成績だから最初のレースが大切なことは勿論、ペナなくフィニッシュすることが絶対条件である。

ところが 1 日目のフィニッシュ後速報を見て驚いた。完走者 3 名で武石はなんと 2 位にラックされているのである。アンドレーとリトアニアの Vytautas は dns なのだ。私は思わずほほが緩んだ。2 レース目をミスなくフィニッシュすればメダルが転がり込むことになったのだ。全く予想外で兎に角 2 レース目を待ち、これまでにならぬ込み入ったトラックネットワークを彷徨いつつもトップタイムの倍近くを掛けて無事フィニッシュした。



表彰式は 19:00、これまで知り合った

多くの仲間たちから祝福を受け、アナウンサーも遠い東の国ジャパンからの参加であることを紹介すると一層暖かい拍手に囲まれて最高の気分であった。

2005 年スイスのエンガディン大会の銅メダル以来 8 年ぶりのメダルだったが、近年のエントリー数を見て、私は金メダルを狙うには、M80・M85 クラスに生き残り作戦を立てていたので思いがけない入賞メダルとなった。



メダルを運ぶ美しいラトビア娘

■ 帰国空路の誤算 ■

島貫なつみがスキーインカレの出場で 18 日までの帰国条件で参加していたので、日本チームは大会最終日を残して帰国の途に就いた。

マドナ国際空港まで 170km を 2 時間で到着し、しばらくして出発ボードを見て驚いた、モスクワ便がキャンセルになっているのである。どうにか英語が判別できる渡辺をアエロフロートのオフィスにやり事情を問い合わせにやったが、なかなか帰ってこないの痺れを切らし荷物番を島貫に代わり、オフィスに行き定かな事情が分からないまま、兎に角 18 日中に成田着の便を探してもらい、パリに飛んでエールフランスエアに乗り換えることになり、あの広いドゴール空港ターミナルをひたすら歩いて搭乗便に乗り込んだ次第です。

リガーモスクワ便のキャンセル理由は、どうやら予約客が少ないことが理由と推測した、そのわけはオフィスの担当者が開ロ一番「明日の便ではダメなのか？」だった。お蔭でモスクワでのお土産買いは幻となり、私はアエロフロート航空を再び信用しなくなってしまった。

来年は、ロシアのクラスのヤルスクが会場なのでどんな輸送になるだろう？

(スキー〇研究会会長 武石雄市)